



笛太鼓

日和もはずむ

秋祭り

川柳ひだか
操

比井の秋祭り

議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第95号

平成 15 年 10 月 31 日

上げたか最大の効果

14 年度 決 算 2p

特別養護老人ホーム誘致

15年度補正予算 4p

津波に危機感を

一 般 質 問 6p

議長杯少年野球

内 原 優 勝 14p



【発 行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編 集】 議会広報特別委員会 TEL(0738)63-3810 Eメール gikai@town.hidaka.wakayama.jp

限られた予算

上げたが最大の効果

平成14年度決算を認定



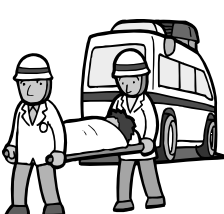
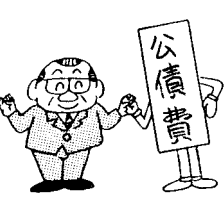

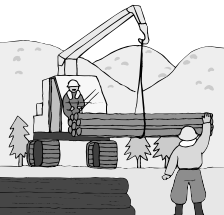

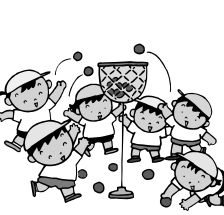

一般会計	45億1187万円
特別会計	25億7838万円

平成15年第3回定例会は9月16日から9月29日まで14日間の会期で開かれた。今定例会では平成14年度一般会計、特別会計の決算を認定。

また平成15年度一般会計、特別会計の補正予算などの議案が提案され可決した。

下水道事業の補正予算案は審議の結果、1部を修正し可決。また、選挙管理委員の選挙や最終日には追加議案2件が提案され可決した。

一般会計決算ではこうなります。

<p>総務費</p>  <p>188,669円</p>	<p>民生費</p>  <p>99,549円</p>	<p>町民1人当たり に使われたお金 601,102円</p> <p>町民1人当たり が納めた税金 79,594円</p> <p>(平成14年3月末の 7,506人で計算)</p>	<p>消防費</p>  <p>18,404円</p>	<p>公債費</p>  <p>53,894円</p>
<p>衛生費</p>  <p>47,558円</p>	<p>土木費</p>  <p>70,531円</p>	<p>農林水産業費</p>  <p>65,826円</p>	<p>教育費</p>  <p>39,605円</p>	<p>その他</p>  <p>17,066円</p>

監査委員の審査・意見

審査の結果

各会計の決算並びにその他の会計帳簿関係書類を審査したところ、収支命令と符合し計数は正確であることを認めた。

審査の意見

国の財政事情も厳しい中、広範囲にわたる行政がなされ一定の成果を収めているが、依然として依存財源による財政事情には変わりはなく、行政目標の達成に向かつて今後も健全財政を維持し、住民福祉向上に寄与されるよう望むものである。

次の事項につき、速やかに措置を講じられたい。

- ・温泉館について
今後入館者数の減少が懸念される。引き続き、誘客に努力を望むものである。
- ・人材育成事業について
近年希望者がなく、その目的が達成されていない現状を見ると、見直しを図る時期と考える。
速やかに検討を望む。

14年度 決算質疑

一般会計

問 町税の不納欠損額が非常に多いがその理由は、また滞納整理は十分できているか。

答 非常に厳しい経済状況の中で、倒産または、破産が増えてきている。滞納整理は日々努力している。

問 クエの町づくり事業補助金750万円は、適

正か。また町のイベントとしてやるのであれば十分か。

産課長 クエの町づくり実行委員会で実施している。終わったら反省会等を開き、次年度に向け十分検討しながら取り組んでいる。

問 ドクターヘリの対応は、どのようにしているか。

総務課長 広域消防が要請し、着陸場所等についてもすべて検討している。

問 農作業用車両の登録及び今後の取り組みは。

税務課長 ナンバーをつけず、公道を走ると道交法違反になる。税務課で登録すると、税額は1台

につき1600円。これからも登録するよう広報をしていく。

産課長 実績による減額である。

特別会計

簡易水道

問 水道使用料の不納欠損、収入未済額についてはどのようにしているのか。

上下水道課長 不納欠損については、会社の倒産ということで連絡が取れない。収入未済額についても請求はしているが、ほとんど連絡がつかない状況である。

下水道

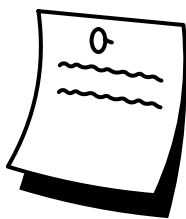
問 下水道使用料の支払い方法。上下水道課長 使用料は、口座振り込みでお願いしている。

虚偽の答弁で減給処分

平成14年度一般会計決算認定の質疑で、執行部の虚偽の答弁に対し、議長が嚴重注意をした。このことに対して、町長は陳謝するとともに三役と担当課長、それぞれ1ヶ月10分の1の減給処分をおこなった。



クエで町おこし（今年のクエフェア）



不況による収入減で

町民税1506万3千円の減額

15年度補正予算

一般会計

既定の予算総額に2億6289万1千円を追加し、総額39億7664万8千円とする。

主な内容は、不況による収入減で1506万3千円の町民税の減、身体障害者福祉費に298万2千円、特別養護老人ホーム建設負担金等老人福祉費に1億3340万7千円、児童福祉費に212万9千円、日高病院負担金に1924万3千円、ため池等整備事業に242万円、小規模土地改良事業に810万円、水産基盤整備事業に61万2千円、台風10号による農地災害復旧費に1064万1千円、農業用施設災害復旧費に5841万円、漁港災害復旧費に3184万円等。

問 特別養護老人ホーム建設負担金について、3階のケアハウスは町の方から要請されたのか。
町長 町からは要請していない。

問 各市町村の分担金は特別養護だけの分担金ではないか。

町長 各市町村の分担金は、特別養護老人ホーム30床、シヨートステイ10床分である。

問 町民税、現年度課税額と分けて1506万3千円減額されているが、当初の見込み違いなのか。
税務課長 当初予算において、14年12月の調定をみて、予算を組み上げるしかし、2月から3月の申告所得の減により、今回減額した。

問 中山間地直接支払交付金で、7万5千円補正されているが、地区が増えたということか。

産業課長 地区内で面積が増えた。
問 現在対象になっている地区数は、また平成12年度から16年度の5年間で打ち切りになるのか。
産業課長 地区数については26地区である。またこの事業は5年間の予定だが、今のところ国から通知がない。



台風10号による被災地

特別会計

簡易水道

既定の予算総額に565万5千円を追加し、総額7億1416万4千円とする。主な内容は、加入金199万1千円、前年度繰越金366万4千円である。

介護保険

既定の予算総額に460万2千円を追加し、総額4億823万2千円とする。

下水道

既定の予算総額に915万2千円を追加し、8億2784万6千円の予算が提出されたが、新規加入者の分担金を農業集落排水事業分担金徴収条例第5条により15万円としたことについて、質疑が集中し特別委員会に付託された。

特別委員会で審議の結果、条例第5条の適用により金額を決めている点について、再度塾考することを求め、本議案から15万円を減額する修正案を提出することとした。本会議では、この修正案を可決した。

選挙管理委員及び 補充員は次の方々に 決まりました

荊木

楠山 皓氏

志賀

中村 君枝氏



萩原

石家 良昭氏

方杭

井上 勲氏



選挙管理委員補充員

志賀 力津文徳氏 萩原 楠山 護氏
産湯 初井義彦氏 高家 鍵本明典氏

農業委員の推せん

第2回臨時会において、平成15年7月23日任期満了となる日高町農業委員会委員に、議会から次の方を推せん。

仲田 良美氏(高家) 寺井 武和氏(小池)
湯川 正雄氏(柏) 表具 勇氏(比井)

条例制定・一部改正

平成15年度 小規模土地改良事業
分担金条例

萩原地区で水路工50m、高家地区で水路工20m施工するため、受益者から事業費の20%、82万円を徴収する。

平成15年発生 農地災害復旧事業
分担金条例

今年8月8日から9日にかけての台風10号により、発生した農地災害復旧事業18件を施工するため、受益者から106万3千円を徴収する。

特別職の非常勤職員の報酬等に関する条例

今まで役場での不在者投票は、投票用紙を封筒に入れて署名したが、本年12月1日から投票は期日前投票となり、公示日や告示日の翌日から投票日の前日までは、投票用紙を直接投票箱に入れるように簡素化された。

このため、投票管理者1人、投票立会人2人の報酬及び費用弁償等の条例改正。病院などでの不在者投票は、今までどおり。

字の区域の変更

高家区に入っている4軒は池田区の土地に建っている。

このため、郵便物などの配達が変わりにくいことから、大字池田から大字高家に編入してほしいという要望があり、池田区の20筆、面積7225mを高家区に編入。

工事請負契約の締結

萩原地区ほ場整備 1工区工事

7社による指名競争入札で、和興建設株式会社日高営業所が、1億3639万5千円(落札率95.7%)で仮契約。工期は、16年3月31日。

問 工期内に完成できるのか。

建設課長 ほ場の区画決定が遅れた。業者に対しては、できるだけ工期内に完成するように求めている。

問 ほ場整備工事に対する業者の実績・経験は。

建設課長 印南町や川辺町などで工事をした。

萩原地区ほ場整備 2工区工事

13社による指名競争入札で、株式会社 光修建設日高町営業所が、7192万5千円(落札率97.4%)で仮契約。工期は、16年3月31日。



土地が池田区となっている高家区民の家

未来をきずく Q & A いっぱん質問

津波対策に危機感をもて

山本 源昭 議員

町長 地域と一体となって取り組む



問 自主防災組織の必要性をどう考えているか。

今ほど、地震・津波のことが報道されたことはない。犠牲者を出さないためにも再度問う。
町長 被災したと思っ
事前復興に投資する対策を
考える。
津波避難計画策定研修
会で、地区の要望を聞き、
十分検討したい。

町長 大規模災害は公的な防災体制の機能にも限界がある。組織が結成されるよう協力願いたい。

問 講演会や研修会の計画は。

町長 講演会や研修会の計画は。実施したい。

問 避難路に街灯の設置を考えたか。

町長 東南海・南海地震対策特別措置法により、設置できれば検討したい。

問 比井小学校では、避難訓練を行っている。町職員は危機感を持っていない。災害時、優先扱い電話の申請を行っているか。

町長 やっていない。



みんなで検討（9月28日阿尾での図上研修）

進み出した学校給食

問 学校給食アンケートで保護者の考えをどう把握したか。

教育長 差し迫った切実な願いやニーズを把握した。

問 教育委員会の方針は。
教育長 学校教育課程の要の一つとして取り組む。

問 町長の考えは。
町長 給食実施に向け、来年度当初予算に計上できると考えている。

問 給食実施の方法と時期は。
教育長 自校、センター、民間委託の方法がある。慎重に検討したい。時期は明言できない。

問 16年度実施の期待を裏切らないか。
教育長 希望にお応えできそうな方向をとっていききたい。



清水 正巳 議員

新世代地域ケーブルテレビ導入計画は

町長 広域圏や町村会で調査研究する

問 比井地区のテレビ共聴施設の全面改修工事がNHKからの申し入れで中止となった。

理由は新宮地区の大容量ケーブルテレビ回線が、今後当地方に延長される可能性が高いので、広域市町村圏組合の対応状況を見たいとのことである。

施設の老朽化が進んでいることや他地区でも同じ問題が発生することが考えられ、早期の決着をお願いしたいが町長の考えは。

町長 地域間格差の是正を図る新世代地域ケーブルテレビ施設は当町にとって大きな利点があり、広域市町村圏組合や町村会で調査研究を行う。

問 広域8市町村の事業に対する思いはどうか。

町長 必要性を認識している町村長もいるが、これからも積極的に働きかけて行く。

問 地域ケーブルテレビ施設整備事業(約18億円)補助金の負担割合及び申

請期限は。

町長 市町村が運営する場合、国3分の1、市町村3分の2。

局が運営する場合、国4分の1、県8分の1、局2分の1、市町村8分の1となっている。

事業補助金の存続はかなり厳しいものがある。

問 合併特例債の活用は可能か。

町長 合併を予定している市町村が直接運営する場合は可能。

ケーブルテレビ局が運営する場合は、対象が広域となるために活用は困難である。

地方自治体本格的IT化へ

問 自治体が本格的なIT化をむかえ電子政府の実現を目指している。

庁内ランも完成し、総

合行政ネットワークは来春開通し、電子自治体実現が目前に迫ってきている。ITを実際に活用するのは現場の職員であるが、活用及び対応能力レベルは。

町長 基礎知識はある程度できたと思う。さらに対応能力レベルの向上に努めたい。

問 対応能力は十分でないと考えますが、今後の研修計画及びスペシャリスト育成計画は。

町長 エーラーニング(電子自治体推進緊急整備事業)においてインターネット上で10名程度研修計画している。

スペシャリスト育成については現在考えていない。

問 多種多様な情報と地域住民活用レベルは。

町長 今日、多様な情報がインターネットで利用できるが、町内の利用はまだ少ないのではないかとIT社会を目指している国と地方自治体、地域住民の活用レベルにはまだ格差があり基盤づくりを推進していく。



有害鳥獣捕獲、防止対策について

天満 滋明 議員

町長 前むさど 取り組み



7000 ボルトの電気柵でサルを撃退（由良町）



問 近年、有害鳥獣による被害は増大する一方である。

このような状況下、各町村においても住民の切実な声に耳を傾け互いに協力しながら捕獲、防止対策に努力しているところである。

また、昨年の夏頃から新たにアライグマによる被害が急速に広まっている。

農作物被害などが一層増加することが懸念されることから獣害防止対策が急務となっている。

実態調査と体制作りに取り組んで。

町長 今後は、農業関係者等の協力をいただき、被害の実態把握と鳥獣害防止に向けての体制作りに取り組んでいきたい。

問 アライグマ等、被害

地域への捕獲オリ設置は、**町長** 網、わな猟免許の所持者の指導監督のもとで捕獲を行うことができる。今後は捕獲オリの設置ができるよう取り組んでいきたい。

問 イノシシ、サル等に対する防止柵、電気柵の町単独補助は。

町長 県の補助事業と併せて平成16年度より町単独補助事業を実施できるよう検討していきたい。

問 今後も被害が拡大するならば、最終的に由良町が取り組んだ国の補助金を活用した農業生産総合対策事業も視野に入れ、考えて行かなければと思うがその場合、どのような条件や制約があるのか。

産業課長 ソフト事業の実施や産地指定等、また採択要件は、果樹10ha、路地野菜10ha、施設野菜5ha以上となっている。

問 この事業には受益者も相当の負担金がかかってくると思うが、関係者

の熱意で気運が高まれば取り組めるのか。

町長 地域で関係者の体制が整い、強い意思で行政にも協力してほしいということであれば、補助金制度があるので該当すれば前向きに取り組んでいきたい。

役場前県道の危険箇所

問 国道交差点から役場前の県道では通行量が多い上、変則なS字カーブになっており、これまでたびたび事故や危険な場面が発生している。

カーブで見通しが悪い上、出入りの多い役場の玄関口、さらに横断歩道があり以

前から車を運転する人、歩行者からも、この危険な箇所を何とかしてほしい」と言う声を聞くが、対策を考へてはどうか。
町長 早急に県と協議し解決に努める。



楠 新一 議員

実行されなければ絵に描いた餅

町長 十分検討し、勉強する

問 農業においては、専業農家が年々減少する中、一段と高齢化が進み労力不足が深刻となっている。営農の合理化を図るため、各地区毎に集

団営農を進める生産組合のような組織を設けてはどうか。
町長 大事なことだと思うので十分検討し、勉強したい。

問 町長は合併に対するビジョンの中で、農漁業が新しい町の顔となり、根幹として形成される町づくりを目指すと言われるが、当町の農漁業は、担い手の高齢化、若年後継者不足が大きな問題となっている。
基幹産業に対し、今新たな対策が必要と考えるがどうか。
町長 今までも努力をしているが、今後も前向きに全力を挙げて取り組みむ。



後継者不足の農業

問 中山間地域等直接支払制度は集団施策として十分成果を上げている。これからの農業は、集団で取り組むべき時期にきている。

問 今後この事業が延長されない場合、町単独事業で一考されてはどうか。
町長 この件についても十分勉強させていただきたい。

問 長期総合計画の基本理念に、町民が主役である住民参加の活力ある町づくりを目指すとなっている。

町長 建設的なご意見であり、十分検討して前向きに取り組みたい。

そこで町民一人一人がこの町づくりに対する興味や関心を高め、積極的に関わってもらえるような場として、各地区毎に町づくり委員会を設置してはどうか。

有害鳥獣対策は地区ごとで

問 有害鳥獣による被害が増加している。生産者がたびたび被害に遭うと生産意欲の減退、これが田畑の放棄となる。被害状況を十分把握し、被害が出ている集落単位で効果ある対策を検討すべきと考えるがどうか。
町長 来年度に向けて十分検討したい。

問 アライグマによる被害も増大しているが、このままだといるいるな作物への被害が懸念される。被害が出ている地区単位で速やかに対策を実施すべきと考えるがどうか。
町長 来年度より捕獲オリを被害地区へ設置できるように取り組む。

市ノ瀬 進 議員

県道・歩道の改良を

町長 県に要望する



問 県道比井紀伊原停車場線清水井橋より山本インターア間は、S字カーブであるため、見通しが悪い。また役場からの出入りも多く事故の発生源になっている。

町長 早急に改良を要望する。県道については、すでに改良済みである。

道路予算が大変厳しいなかで、再度改良を実施していくことは、非常に困難である。

危険箇所については早急に県に現場を見てもらい、要望していきたい。

問 役場前の県道を中学生が毎日学校まで歩道を利用して通学しているが、その間、県道を2回横断しているため危険である。歩道を改良しては。

建設課長 歩道を新設するためには、交通安全対策事業等を取り入れながら、地権者の意見を十分に聞き、調査したなかで、測量等に入って行かなければと考えている。

問 谷口三叉路の改良計画は。

町長 谷口三叉路における交差点改良については、平成14年度に、平面計画を実施しており、谷口、

下志賀両区長と地権者に対して、理解をしていただくよう説明をしている。



危険な役場前県道（歩道）

町道高家西線について

問 町道高家西線について。
町長 高家西線については、地元の理解も得ている。

隣接町とを結ぶ主要道路災害時の緊急車両等の通行の安全性確保のため、本年度において、整備計画を策定し、現在、国に対して新規要望をしている。

問 事業内容は。
建設課長 臨時交付金事業Bタイプで、高家下志賀線と同様3種の3級で片側幅員3m、歩道3mの計画で、美浜町との境界から県道までの約1700m、概算で約13億円程度と想っている。

その他、平成14年3月藤和不動産より、町が購入した東高坪山の管理環境保全等について、質問を行った。



中村 性一 議員

津波などの防災対策を

町長 対策に万全を尽くす

問 住民の防災意識を高める取り組みが、防災対策の出発点だと思つ。

御坊市では、区民が集まって地図を広げ、県の被害予測データをもとに避難場所や避難路を記入する図上訓練を実施した。当町でも、図上訓練をして避難場所まで歩けば、防災意識の高揚にもつながるのではないかと。

町長 9月28日に、津波避難計画策定研修会を開き、地図を見ながら避難場所を決め、お年寄りの避難についても区民で考える。

問 津波の高さによって、避難場所も変わる。

県が予想している町内の津波の高さは何メートルか。

参事 産湯沖では4.4mとなつているが、9月から来年度にかけて見直す。

問 防災計画の中で、阿尾の光徳寺や青年会場は、津波に対して、となつているが避難場所として適切か。

参事 建物は倒壊の恐れ

があり、必ずしも安全でない。

問 産湯の避難場所は、集会所が安全。

参事 産湯の防潮堤は約6mあるが、昭和21年の南海道地震では川から浸水してきたと聞く。

現在、川口の水門が壊れているが、改修予定を問う。

町長 改修するため、来年度実施測量を予定。

問 防災科学技術研修所が、昭和56年以前の耐震基準で木造2階建の家を造り振動実験をした結果、阪神大震災並みの揺れで、わずか10秒で倒壊した。当町の防災計画では、「狭い道路の多い地区では、住宅等耐震性の高い住宅への建て替えや改修を推進する」となつている。

兵庫県などでは、耐震診断や改修に補助金を出している。和歌山県はどうか。

参事 支援制度を策定中で、県の支援制度ができ

れば、町村でも助成できる。

問 9月26日、北海道で強い地震があり、タンスやテレビが倒れ、ケガをしたと報じられている。

三重県の紀勢町では、屋内の安全確保のため、

タンスなどが倒れないようにする転倒防止金具を全戸に配布している。

町長 当町でも考えては、十分検討する。

問 ため池の耐震性について問う。

建設課長 昔のままのた

め池は、決壊のおそれがある。

防災事業によって改修済みのため池は、安全性についても考えられている。

その他、公共事業や道路標識について質問した。



早く高台へ避難しなくては（阿尾地区）

学校給食に保護者の意見を

西岡 佳奈子 議員

教育長 慎重に検討する



問 学校給食をどういうかたちで検討されるか。
教育長 詳細な資料と研究が求められる。必要に応じて、「推進委員会」のような組織を設立していきたい。

問 教育としての給食、雇用、地域経済に与える影響や町財政との関係などを考えた時、現時点でどんな給食が望ましいと考えているか。
教育長 地産地消を取り入れた給食が望ましいと思うが、ハードルは町財政との関係だと思う。

問 教育委員会だけで決めていくものではないと思う。
各学校 P T A に給食に関する専門部もあり、勉強もしてきている。保護者もまじえて給食の身を十分議論するよ

うな委員会が必要だと思

問 推進委員会設立の思考段階だが、どんな給食が望ましいかを慎重に検討していきたい。

問 雇用、地域経済に与える影響や町財政との関係などを考えた時、現時点でどんな給食が望ましいと考えているか。
教育長 地産地消を取り入れた給食が望ましいと思うが、ハードルは町財政との関係だと思う。

問 雇用の面では、自校方式で 8 人から 10 人、センター方式でも 6 人程度の雇用が見込める。食材料購入の面で地域経済に及ぼす影響もある。有機農業で有名な宮崎県綾町では、米は 100

% 町内産。野菜果物では 92・7% が町内の農家、商店から購入されている。私は、自校方式による学校給食、地元でとれた米や野菜、魚をその学校で利用する、生産者や調理をしてくれる人の顔が見える給食というのが一番望ましいと考える。

教育長 財政面と併せて、教育としての位置づけ、検討していきたい。

教育長 今回のテストに積極的合意では



県下一斉学カテストは問題

問 和歌山県教育委員会は 11 月 26 日に県下一斉の「学力診断テスト」を実施すると発表をした。テスト結果を公表すると、学力を測り、指導に役立てるといふことと、県下一斉に実施をし、結果を公表して他と比べるといふことは意味が違う。

今日このテストは、学校のランク付けをし、競争をあり、指導方法や指導体制を押しつけるということにつながるのではないか。

今日このテストは、学校のランク付けをし、競争をあり、指導方法や指導体制を押しつけるということにつながるのではないか。



しっかりお勉強 (内原小学校)

特別養護老人ホーム誘致

「ひだか博愛園みちしお」旧阿尾小学校跡地へ



ゆら博愛園で研修

個室型特別養護老人ホーム30床
 新型ケアハウス30床、デイサービスも併設
 ゆら博愛園へ

全議員研修

9月3日、ゆら博愛園
 で全議員による視察研修
 をおこなった。

10人をつつの家族のよ
 うな考え方で介護をする
 個室ユニットケア方式や
 「クックアンドチルド」
 といわれる最新調理法、
 博愛園が高町に予定し
 ている施設の説明を受け
 た。

日高町の施設は、個室
 型の特別養護老人ホーム
 30床、シヨートステイ10
 床、特養ホームと同様の
 介護が受けられる新型ケ
 アハウス30床、デイサー
 ビスの予定。
 介護保険による利用料
 等が利用者負担となる。
 利用料軽減のため、町
 からの補助負担金がも
 められる。

建設負担金
 補正予算可決

9月議会では建設のた
 めの町負担金の内、今年
 度分が提案され可決した
 旧阿尾小学校の解体や
 隣接する公園の整備など
 も含めて2力年で約2億
 1500万円の負担が見
 込まれている。
 平成16年秋頃完成予定

請 願

「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求め、意見書の提出を求める請願」

総務文庫常任委員会に付託中の請願について8月25日に再度審査されたが、慎重な審査が必要なため、継続して審査することとなった。

山口県徳地町議会広報委員会が視察

親しまれる議会だより編集で交流



徳地町の議会だより

9月1日、山口県徳地町議会広報委員会の皆さんが、当町の議会だよりの編集方法について研修するため来町。住民の皆さんに親しみをもって読んでいただくための工夫や、編集作業の苦労話なども交流し、互いに研鑽を深めた。

地方の実情にあった道路整備の促進と 財源確保を求める意見書

国土の均衡ある発展の観点から、地方の道路整備の重要性を認識され、次の事項について留意されるよう強く要望する。

- 1、地方における高規格道路から市町村道に至る道路網の整備をいっそう促進すること。
- 2、地方基準による公共事業の展開など、地方の実情にあった道路整備を推進するため、税財源の地方委譲を積極的に推進すること。

採決した結果、全員一致で可決し内閣総理大臣等に提出した。

提出者	山本 善啓
賛成者	西岡佳奈子 金崎 昭仁 辻村 仁志 市ノ瀬 進 山本 源昭 楠 新一

まず逃げよう 高台へ

総務文厚常任委員会



避難道路を見学

最近、テレビ・新聞等で地震関連のことが頻繁に報じられている。委員会は事前に研修をおこない、いつ起こってもおかしくないといわれている南海・東南海地震に備え、一人一人が意識を常に持つてもらえるようにと考え、三重県紀勢町を訪れ、防災対策について視察研修をおこなった。

同町は昭和19年に発生した東南海地震による津波で、64名もの尊い命と

0mおきに設置している避難休憩所(発電機・防災用具等も配備)など設けるとともに、町民の防災意識を高めるために全戸に非常持ち出し袋や家具転倒防止金具の配布をおこなっている。

「津波の速さはジェット機並、地震を感じたらすぐ安全な高い場所へ避難すること」を合い言葉に町民に意識の高揚を図っているとのことであった。

有機農業で町の活性化

産業建設常任委員会



農産物販売所「ほんものセンター」

委員会は、7月29日に宮崎県綾町で有機農業について視察研修をおこなった。

この町は農業を主体とし、堆肥を生産方法で有機農業への取り組みを進めている。「一坪菜園運動」からスタートし、自給肥料供給施設・家畜糞尿処理施設などの建設により、成分的にも素晴らしい堆肥が製造されている。

これを使った農産物を、農協と役場が一体となり販路の拡大に取り組んでいる。

現在では綾町のブランドで販売力が増し、農家の方の大きな副収入になっている。

役場も各方面からの視察の依頼に大忙しと聞いている。

今回の視察研修は、当町にとつても大変参考になることが多くあつたと思われる。

編集後記

地方分権が進み、市町村合併等地方の時代が益々加速される中、活力ある町づくりに住民の皆さんと一体となつて取り組んでいかなければならない重大な時期だと思ひます。

そのためにも、皆さんの期待に応えられる「議会だより」となるよう委員一同がんばっています。

ご意見をどしどしお聞かせください。

(楠 新一)

第33回議長杯争奪 少年野球大会開催

8月30日若者広場にて



- 優勝 内原少年野球クラブ
- 2位 志賀少年野球クラブ
- 3位 比井マリオン少年野球クラブ

アウト? セーフ?



この広報紙は再生紙を使用しています。